と貴 と職 おに 慶お びか 申れ しま 上し げて まは す、 。御 健 勝 15 7 御 活 躍 0

り援 、にき 心って よき ` りま大 感し規 謝て模 申は災 し、害 上こに げれお ままけ す でる °格被 别災 の地 御へ 協の 力人 を的 賜支

い市来が職が材置害 た町年不員、確やか被 だ村度足をそ保任ら災 いかもしはれに期のし てら、、じで向付復た お八まそめもけ職旧地 り十だのとなた員・方 ま七概確しお様を復公 す名数保て、々含興共 。のでに様現なむに団 中は苦々場努新む体 長あ慮なで力たけに 期りさ職はをなてお のまれ種、重職、い 職すてで土ね員重て 員がい中木ての点は 派、る長なお採的、 遣被状期どら用な大 要災況ののれ等職規 望しで人技ま、員模 をたす員術す人配災

御地体 協への貴 力の窮職 を中状に 賜長をお り期御か まの理れ す職解ま よ員いし う派たて 、遣だは おにき、 願つ、被 いき大災 申ま規し しし模た 上て災地 げ、害方 ま格の公 す別被共 。の災団

組ず技の足 んは術中のま で千職長市た お人員期町、 りの派派村総 ま中遣遣を務 す長制要支省 期度員援に 派しをすお 遣を確るい 要令保とて 員和すとは の二るも、 確年「に平 保度復、時 にに旧大に 向創·規技 け設復模術 てし興災職 取、支害員 りま援時不

を道け技 要府る 員 しに おた対に派 録組こかとし係遣今 いんとれこてる制年 要度度 で「件 技をにら 術 廃 係は 職止る 員す 地 確 る方復 保と交旧 計と付・ 画も税復 」に措興 の、置支 策各に援 定都お

げ積画げ 貴 ま極的が す的に始職請県増 。に取ま 15 登 h 3 \mathbf{t} た で まろ だい踏 てす ŧ たま まだえは ŧ す `技 今 ょ う 中術年 、長職度 お期員か 願派のら い造確定 申要保年 し員に引 上を計上

力取が援 をり一、総 重組丸人務 ねんと的省 てでな支と おいっ援い 願くて、た い所、ソし 申存一フま で日 上ごも 面 げざ早でも まいいのう す ま復支引 す 旧援 。・な 続 貴復どき 職興 の支全財 御援職政 協に員支

お 祈末 筆 ŋ 申 な が 上ら げ ま 貴 す 0 御 健 康 Y 益 Q 0 御 活 敬 躍 具 を

総月 大 臣

令

和

五

年

八

十

日

道 府 県 知 事 殿

都

と貴 と職 おに 慶お びか 申れ しま 上し げて まは す、 。御 健 勝 に 7 御 活 躍 0

り援 、にき 心って よき ` りま大 感し規 謝て模 申は災 し、害 上こに げれお ままけ すでる °格被 别災 の地 御へ 協の 力人 を的 賜支

い市来が職が材置害 た町年不員、確やか被 だ村度足をそ保任ら災 いかもしはれに期のし てら、、じで向付復た おハまそめもけ職旧地 り十だのとなた員・方 ま七概確しお様を復公 す名数保て、々含興共 。のでに様現なむに団 中は苦々場努新む体 長あ慮なで力たけに 期りさ職はをなてお のまれ種、重職、い 職すてで土ね員重て 員がい中木ての点は 派、る長なお採的、 遣被状期どら用な大 要災況ののれ等職規 望しで人技ま、員模 をたす員術す人配災

御地体 協への貴 力の窮職 を中状に 賜長をお り期御か まの理れ す職解ま よ員いし う派たて 、遣だは おにき、 願つ、被 いき大災 申ま規し しし模た 上て災地 げ、害方 ま格の公 す別被共 。の災団

力取が援 をり一、総 重組丸人務 ねんと的省 てでな支と おいっ援い 願くて、た い所、ソし 申存一フま しで日トし 上ごも面て げざ早でも まいいのう すま復支引 。す旧援き ・な続 貴復どき 職興、、 の支全財 御援職政 協に員支

お祈り申し上げます。末筆ながら、貴職の御健康と益々の御活 躍を

敬具

和五年八 総月 十八日

大 臣

市

区

町村長

殿